

米シリアを攻撃

化学兵器使用と断定 大統領発表 英仏も参加

【ワシントン＝後藤孝好、リヤド＝奥田哲平】トランプ米大統領は十三日午後九時（日本時間十四日午前十時）、ホワイトハウスで国民向けに演説し、シリアのアサド政権が化学兵器を使用したとして同政権に対する攻撃を指示したと発表した。トランプ氏は「英国、フランスと共同で攻撃する」と表明。AP通信はトランプ氏の演説中、シリアの首都ダマスカス上空で大きな爆発音が起きたと速報し、攻撃が始まった。

トランプ氏は、シリアでの化学兵器使用を「邪悪で卑劣」と非難。アサド政権が化学兵器の使用をやめるまで攻撃を続ける考えを示し、同政権を支援するロシアとイランを批判した。

シリアの首都ダマスカス近郊の反体制派主要拠点、東グータ地区では、アサド政権軍による七日の空爆後、四十人以上が呼吸困難の症状で死亡。米英仏の三カ国は政権軍が使用したとの疑いを深めていた。



13日、シリアのアサド政権への攻撃指示を発表するトランプ米大統領（ワシントンのホワイトハウスで（ロイター・共同））